

## 平成30年度 第1回 山梨県立美術館協議会 会議結果記録

日 時： 平成30年10月26日（金） 午後2時～3時30分

場 所： 県立美術館講堂

参加者：

- 委 員 堀内正基、向山富士雄、古屋知子、手塚義彦、  
高野孫左右衛門、野口英一、金丸康信、辻村和人、  
小澤智子、川口園子、野中るみ子
- 県立美術館 青柳館長、桐林副館長、古屋次長、井澤学芸課長  
望月総務担当リーダー、平林学芸担当リーダー、  
高野普及担当リーダー
- 指定管理者 岩野SPSやまなし支配人、高橋SPSやまなし副支配人
- 県教育委員会 学術文化財課：柳沢総括課長補佐、海老根主任

議事

- 1 平成29年度事業報告等について
- 2 平成30年度事業報告及び予定等について
- 3 その他

司会 桐林副館長

委嘱状交付

館長挨拶

事務局職員紹介

会長、副館長選任

山梨県附属機関の設置に関する条例の規定に基づき、委員の互選により、  
古屋知子委員を会長に、高野孫左エ門委員を副会長に決定。

会長挨拶

議事録

- 事務局から会議資料により、議事（1）、（2）を説明  
特に委員から意見はなく、議事は了承された。

○議長

3 その他について、いかがでしょう。

○A委員

ドービーニー展に出足はどうか。

○事務局

今のところ、ちょっと目標を高く設定しており、まだ目標人数を満たせる状況ではないですが、秋の展示としては、観覧者が入っています。まだ展覧会が始まったばかりですが、観覧して頂いた方の評判が大変いいので、口コミが増えていくのではないかと予想しています。図録の売れ行きも大変良くて、ネットなどでも「山梨までドービーニー展を見に行く」という内容が見受けられるので、これから秋が深まっていく中で増えて行くのではないかと考えています。

○B委員

この美術館の活動の中に、美術館を支える大きな力として協力会という組織があります。その力たるや、歴史的に見ても多くの美術館の中でも大変素晴らしくて、美術館の40年の歴史と共に、協力会、ボランティアの組織の大きな40周年でもあると認識しています。次回の活動報告で、活動を細かく紹介する必要はないですが、一度この県立美術館のボランティアという活動に光を当てて頂き、協力会という組織もますます発展するよう私も望んでいるので、一度こういう協議会で、この美術館のボランティアとはどういうものなのかということ、委員の方々にご紹介いただき、お力添えをいただければいいかなとご提案させていただきます。

○議長

はい、ありがとうございます。大変貴重なご意見ありがとうございます。事務局いかがでしょうか。

○事務局

大変貴重なご意見ありがとうございます。全国の美術館に先駆けて、協力員さんにボランティアとして、県民に参画していただきながら運営の協力をお願いしたのが山梨県立美術館と聞いておりますので、協力員さんの力なくしては運営が滞ってしまう、そのように思っております。次回の活動報告の中には、今おっしゃられた通り何かしらの報告を入れて、皆さんに活動状況の報告をしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○議長

よろしくお願ひ致します。それではこれで、議事を終了したいと思います。ご協力ありがとうございました。